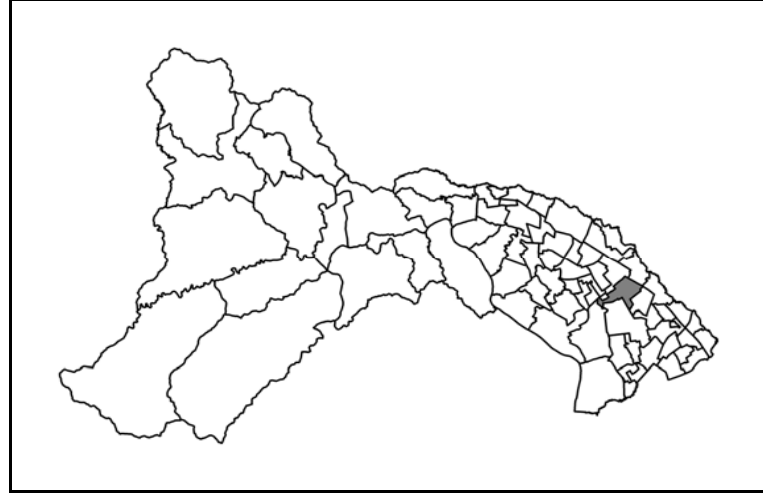


○地区を構成する町丁

【南区】大野台1丁目～6丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野中(サンライフ相模大野台, ガーデンポート相模大野台, グレイスタウン大野台, 自治会法人大野台第一, 自治会法人大野台第二)

○地区概況

東部に浅い谷があるが、造成によって平坦になっているところが多い。地区の北東端沿いに国道16号が通っている。西部には広域避難場所となっている相模原ゴルフクラブがある。東部は主に住宅地であるが、国道16号の周辺は工場や商業施設が多い。

○建物数・人口

区分	建物 (棟数)		人口 (人)	
	棟数	比率	人口	比率
木造(昭和55年以前)	986	26.8%	611	4.4%
木造(昭和56年以降)	2,034	55.2%	10,236	74.8%
非木造(昭和55年以前)	151	4.1%	3,126	22.8%
非木造(昭和56年以降)	534	14.5%	13,973	100.0%
合計	3,705	100.0%	13,973	100.0%

○所見

- ・広域避難場所は、西部に相模原ゴルフクラブがあり、北側に淵野辺公園がある。いずれも避難距離が短い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	大野台連絡所, 大野台公民館
警察署	
消防署	
消防団詰所	大野台
病院等	
主な災害時要援護者施設	ナカミチデイサービス大野台, 社会福祉法人幸会 大野台幸園, ニチイケアセンター大野台, シルバータウン相模原特別養護老人ホーム, ケアハウス こもれば, 第二けやき作業所
幼稚園、保育園	大野台保育園, 大野文化幼稚園, 大野村いつきの保育園
学校、大学	大野台中央小学校
避難所	大野台中央小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	相模原ゴルフクラブ
防災備蓄倉庫	大野台中央小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

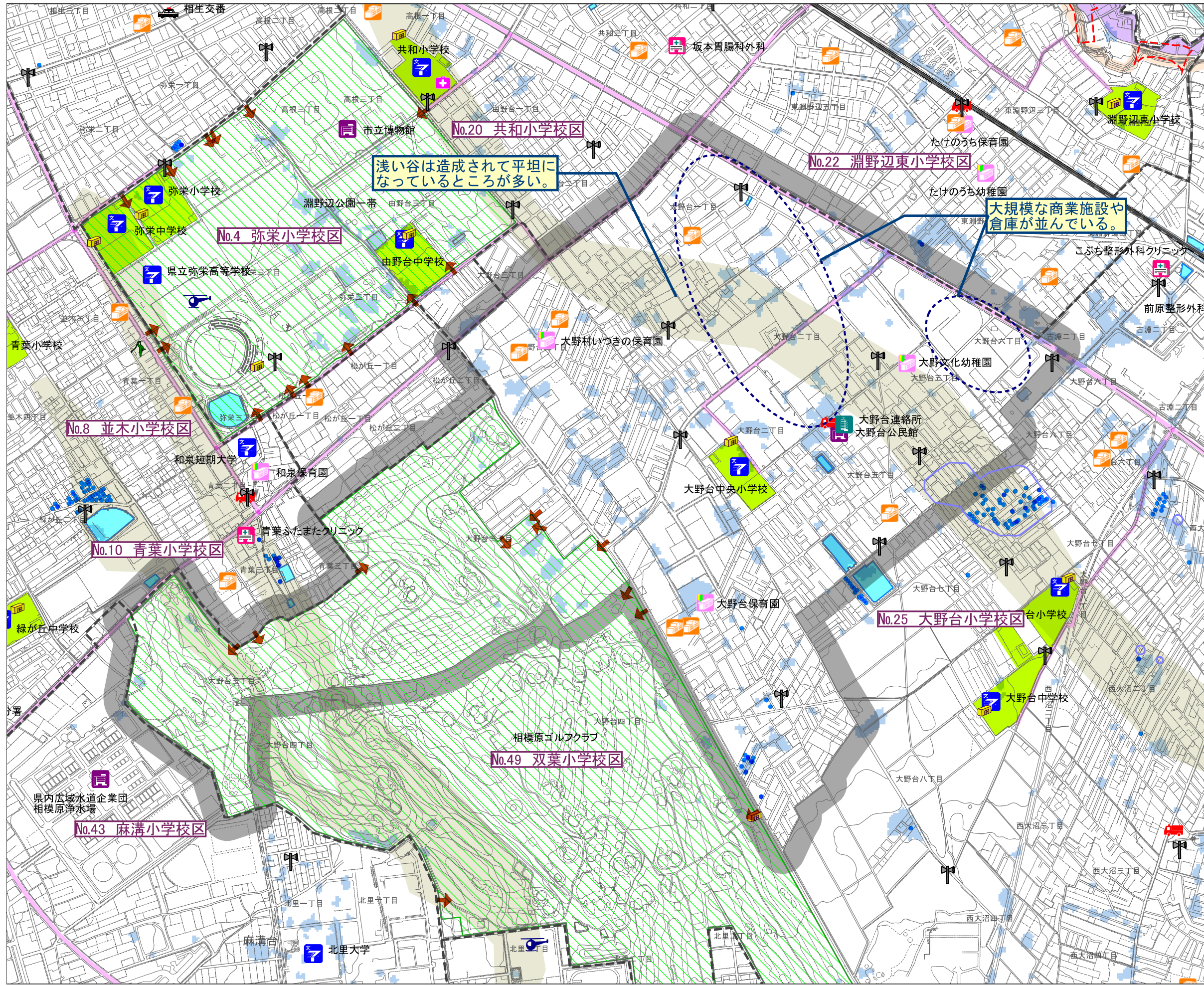
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	181 棟	4.9 %	29 棟	0.8 %	29 棟	0.8 %
建物焼失	42 棟	1.1 %	2 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	11 人	0.1 %	2 人	0.0 %	2 人	0.0 %
閉込者	57 人	0.4 %	9 人	0.1 %	9 人	0.1 %
重傷者	12 人	0.1 %	2 人	0.0 %	2 人	0.0 %
軽傷者	78 人	0.6 %	31 人	0.2 %	31 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	480 人	3.4 %	105 人	0.7 %	100 人	0.7 %
避難所避難者(1週間後)	1,074 人	7.7 %	521 人	3.7 %	518 人	3.7 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■■
土砂災害	■■■■■
地震による地盤災害	■■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■■

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水2戸  
 平成 3年 9月19日 床下浸水3戸、床上浸水1戸  
 平成14年 8月16日 床下浸水4戸  
 平成14年 9月 9日 床下浸水5戸  
 平成15年10月13日 床下浸水1戸  
 平成20年 8月28日 床下浸水1戸



凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:10000

